

「頸動脈三角および styloid diaphragm の構造と内頸動脈との位置関係（解剖学実習用遺体での観察研究）」のお願いとお知らせ

## 1. 研究の対象

防衛医科大学校白菊会会員として献体された御遺体のうち、2021年（令和3年）8月～2023年（令和5年）10月に解剖学実習の対象となる御遺体。

## 2. 研究目的・方法・期間

内頸動脈狭窄症に対する、頸動脈内膜剥離術(CEA: carotid endarterectomy)は脳梗塞の予防の手術として脳卒中ガイドラインで grade A として推奨されています。しかしながら日本人は頸動脈分岐部が欧米人と比較し1椎体ほど高いことが知られており、高位（狭窄末梢が頸椎2番にかかるもの）のCEAに遭遇する機会が多く20-30%あると報告されています。高位で分岐する内頸動脈をどの高さまで露出可能であるかについて、解剖学実習用御遺体を用いた解剖学的な検討を行い、CEA手術に役立てることを目的といたします。

研究期間：学校長承認後から2023年（令和5年）10月31日まで。

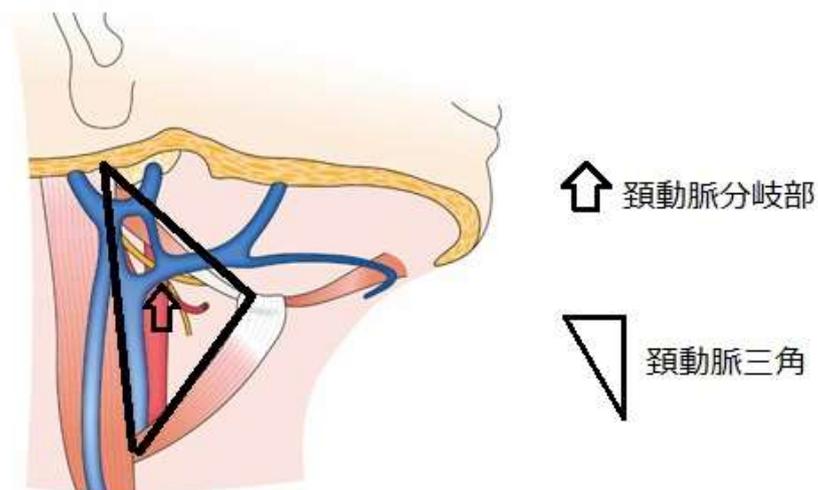


図 頸動脈内膜剥離術における頸動脈三角と頸動脈分岐部の位置関係

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

学校長承認後に脳神経外科学講座の臨床解剖学実習で使用する御遺体を対象にいたします。新たに研究のために検体を採取する事はありません。

### 4. 研究に用いる試料・情報の管理者

試料・情報の利用については、研究用の ID 番号を作成し、直ぐには個人を特定できないように加工したもの（仮名加工情報といいます）を作成します。作成時の情報については研究責任者が厳重に管理します。また、加工後の情報についても、この研究に参加する研究者のみで利用します

### 5. お問い合わせ先

解剖学実習用御遺体を提供いただいたご遺族の方で、解剖学的情報を研究に使わないでほしいというご希望があれば、下記連絡先までご連絡をいただけますようお願いいたします。

なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても不利益を被ることはありません。

連絡先：防衛医科大学校

〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2

所属： 脳神経外科学講座

職名： 教授

氏名： 和田孝次郎

電話番号： 04-2995-1511（内線 2354）

（対応時間：平日 9時から 16時）